

【松川キヌヨ議員】

私は、無所属の会の松川キヌヨです。通告に従い、何点かの質問をいたしますので、どうぞよろしくをお願いします。

大手大橋の4車線化についてお尋ねいたします。

皆様よく御存じの我が長岡市は、人口19万4,000人の県下第2の中核都市であり、上越新幹線や関越、北陸の両高速道路・自動車道の交通網が整備され、一般国道17号、8号が接続する交通体系の位置する都市でもあります。

平成10年に策定されました長岡市都市計画マスタープランでは、川東地域の長岡駅前中心市街地(都心)と川西地区の千秋が原、古正寺地区(副心)を長岡市の中心街と位置づけ、商業業務の拠点として整備しております。

既に川東地区では、大手通り地下駐車場や大手通りのアーケードも整備され、川西地区においても日赤病院が移転し、郊外型店舗も数多く進出し、大変なにぎわいとなっております。ここを中心としております一般国道351号線及びこの地域交通量はピークの状態にあり、今後はより増大するものと予想されます。

そこで、第1の質問に移ります。長岡市は信濃川を挟んで東西に分かれており、地域活性化のためには、東西の交流・交通が非常に重要であります。蔵王橋、大手大橋と4本の大きな橋がありますが、4本の橋とも交通量の増大で慢性渋滞であります。特に市の中心を通ります大手大橋は昭和60年7月に開通しましたが、4車線のうち2車線で供用されました。

県は、この大手大橋の現在の混雑度をどのように受けとめておられるのでしょうか、お尋ねいたします。交通量もあわせてお聞かせください。

第2の質問です。大手大橋は、現在でも慢性渋滞している上に、東詰に長岡市がPFI方式で大きなコミュニティーセンターを3地区合同で建設予定が決まりました。さらに平成21年には国体もあり、20年はプレ国体も開催される予定です。

長岡インターチェンジは西にあり、プールは東に計画されております。また、大手通りの拡幅も今年度ほぼ終了するようであります。

この大手大橋は、建設時には4車線の橋脚が一部できていることから、工事は比較的容易なのではないかと思えます。橋ができて17年になります。どうかこのような状態から見て、大手大橋の4車線化を早期に実現していただきたく、お考えをお尋ねいたします。

もう一本、長岡には、東西にかかる宮内大橋の計画がありますが、公共工事の大幅な削減の中で平成24年の供用開始予定も不明のままの状態であります。

長生橋の改修予定もないことから、何とか長岡市民に大きな希望を与えていただきたいと思って、質問をさせていただきます。

大きな質問第2に移ります。商業高校の再編成についてお伺いいたします。

先日、私たちは、商業高校卒業40周年の祝いをようやくいたしました。その当時、家庭の事情などでほとんどが就職しなければならず、クラスの3~5人しか上級学校へは進学できませんでした。

しかし、商業高校は、それぞれに長い伝統を持ち、これまでに地域の中小企業に大変大きな貢献をしていることは十分御評価いただけたと思います。

しかし、現代において企業が高度化しているため、またその国際化、情報化はもとより、社会の変革はとどまることなく、高校教育(商業教育)も高校生の多様化や中学生の減少、景気の低迷に伴う雇用環境の悪化の波を避けることができず、その上長引く不況のために、企業には卒業した生徒を研修させて現場へという時間すら持てず、即戦力の養成が高校現場に期待されておりますので、必ずしも現在の教育内容が時代に合ったものとなっていないと考えられますが、どのように受けとめておられますか。

平成15年度からスタートする新教育課程を見据え、商業教育をいかに切り開いていこうとされておられるのでしょうか。

また、生徒や保護者、中学校の先生からは情報処理や、より専門的な内容の学科を求める声が強くなっていると思いますが、どのように判断されておられますか。

しかし、平成8年7月に中央教育審議会の第1次答申において、これらの学校教育のあり方として、ゆとりの中でみずから学び、みずから考えるなど、生きる力の育成を提言し、その後、教育課程審議会は平成10年7月の答申で、完全学校週5日制の中で特色ある教育の展開を示されました。

また、今回告示されました学習指導要領改訂のねらいは、平成14年度から完全学校週5日制のもと、

ゆとりの中で一人一人の生徒たち、生きる力を育成することを基本的な観点として4本の柱が決定しました。その4番目に、各学校が創意工夫をし、いかにしていくか、特色ある教育、特色ある学校づくりを進めること、教科(商業)についてみても、1、生涯学習の基礎的資質である生きる力の育成、2、経済社会の変化に柔軟に対応できる能力の育成ということなどが重視されて、改訂されております。

そこで、中長期高校再編整備計画の中で商業高校6校、新潟、長岡、高田、新発田、三条、塩沢の存続が示されましたが、小学科の再編成も含め、どのような考え方で商業の整備を進めていこうと考えておられるのでしょうか、お尋ねいたします。

例えば、商業に関する各教科、科目について、社会の変化や産業の動向などに適切に対応するとともに、生徒一人一人の多様な個性を生かすための選択幅を拡大する点から、1.専門性の基礎、基本の重視、2.各学校が一層創意工夫を生かした教育課程の編成、3.専門高校と地域や業界との協力関係の確立などを指摘して、各学校が特色ある教育課程を編成するよう期待されております。

このような流れの中で、今回、小学科の例示がなくなったのであります。このことは、学科の制約を受け付けると社会の急激な変化に対応できる人材の育成が困難になるかもしれないという配慮からなされたと思いますが、標準科目の例示はなされておらず、これによって小学科は不要であると考えられるのではなく、各専門高校の個性や特色を生かした教育内容の実現がなされるべきだと思います。

第2の質問として、商業高校生徒の進路希望を見ますと、大学や専門学校への進学希望も大変多くなっているようですが、生徒の多様な進路希望にこたえるために、大学・専門学校への進学も選択できるよう、学科の再編成を行うべきと思いますが、お尋ねいたします。

平成14年度の大学・短大志願状況を調べてみますと、重点支援校45カ校のうち新潟高校は志願率が99%に達し、新潟商業は49.6%、新発田商業は36.8%、長岡商業は27.6%であります。商業教育において10年前は就職66%、進学34%に対して、現在は就職34%、進学66%、数字が逆転しております。

そこで、進学においても普通高校と同じ教育ということではなく、商業高校からの継続した教育がされるということが、進学する生徒たちに対してとても勇気と力を与えてくれることになるのではないのでしょうか。

例えば、商業科を20単位に抑え、国語と社会と簿記の履修に傾斜をかけた教育課程が編成されたことにより、私立大学の一般入試や大学側の推薦入試導入に伴い、推薦入試による進学へと移行され、現在は商経進学コースと商業コースとの区別なく、推薦入試、OA入試、一般入試など、大学側のさまざまな入試制度も利用しながら進学の道を考えていただきたい。

また、商業高校においては、時代の流れの中で昭和61年より情報処理科が設置され、現在においても大変人気がある科目であります。普通高校においても情報教育が一般にされることにより、商業高校の情報処理をより以上に専門的な教科が今後組まれるならば、専門学校や就職にもっと効果が出ると思うのですが、これら全体を考えに入れられた中で、学科の編成についてお答え願いたいと思います。

第3の質問をいたします。県立新潟女子短大4年制化についてお聞きをいたします。

私は、平成12年6月にこの質問をさせていただいております。県立新潟女子短大は昭和38年4月に開学して以来、38年間、約7,500人を超える卒業生を社会に輩出し、各方面において活躍されておりますことは、新潟県における女子高等教育のおくれに対して、貢献度は多大なものがございます。

そして、12年3月には県立の共学4年制大学に関する要望が提出され、12年7月にはシンポジウムも開催されました。これらを受けて、知事は設立に対してその方向性を2年前に公約で示していただきましたことは心より感謝をいたします。

また、本年度当初予算の中で地域に開かれた高等教育の推進、県立大学設立検討予算を149万7,000円を計上していただきました。新しい大学設立のために、県立新潟女子短期大学将来構想懇談会も設置されましたことは、開学予定を目指して着々と準備が進んでいるのではないかと思います。

そこで、第1の質問に移ります。昨年実施しましたアンケート調査結果によれば、大学への進学希望者のうち県内大学希望者は子供が38.8%、親が55.3%で、県外大学希望は子供が59%で親は39.6%になっております。

親に比較して子供の県外希望が多いのは、親が経済的な面から県内希望するが、子供は魅力ある大学が県外にあると考えているためではないかと考えられます。

その意味でも県立新潟女子短大の4年制化に対する期待が非常に大きい、魅力ある県立大学とするために、どのような特色を出そうと考えておられるのでしょうか、お尋ねいたします。

私が心配しておりますのは、文部省の公私立大学の充実に関して、大学など新增設及び収容定員増については、原則として抑制するとともに、看護や社会福祉など、特別の人材養成に関するものなど、学術研究、社会経済上または地域振興上極めて必要の高い大学などについては抑制は例外として取り扱っている。

また、地方公共団体が地域の文化、産業の観点から大学などの新增設に積極的な姿勢を示していることが条件として挙げられてきているからです。

第2の質問としまして、少子化の中で子育てがしやすい環境づくりから、国においても幼保一元化が議論されております。

3歳、4歳、5歳児に教育が大変重要である、またより高度な保育ができるように、保育士養成課程を設置すべきと思いますが、お尋ねいたします。

最近、仕事と子育ての両立支援の中で、保育士不足の傾向から専門学校で保育士課程が急速にあちこちで開設されております。ただ、資格を取って、職場に入るといことも大切ですが、今、国の再興をかけて子育てのために幼児教育をしっかりと学んでいただきたいのです。

そのために県立高校での閉科・閉園が時代の変化から行われました。また、本年4月には上越市に県立看護大学が開設されましたように、時代の要求から指導的役割を持つような保育士養成課程の設立を早急をお願い申し上げます。

また、幼稚園教育についても、言語教育が非常に重要であり、より高度な幼稚園教諭の養成課程を設置すべきと思われると思いますが、お考えをお聞かせください。

よく言われることわざがございます。「三つ心、六つしつけ、九つ言葉、文十二、理十五で、未が決まる」とよく言われます。これは母親ももちろんですが、ゼロ歳児から保育にかかわられる先生方にもう一度かみしめていただきたい言葉でございます。

次の質問に移ります。先日、私立大学の欠員率全国493校のデータを手に入れました。県内の大学は5校が入っております。少子化の中で大学の定員確保が全国的に課題となっておりますが、4年制となった場合の定員確保や運営費の増加など、大学経営の見通しについてお伺いをいたします。

4番目の質問です。県立新潟女子短大の4年制化構想に対し、既存の私立大学は学生確保に当たり競合するとのことではないかと大変不安視しております。

県立4年制大学が実現した場合の県内私立大学への影響をどのように考えておられるのでしょうか、お尋ねいたします。

5番目の質問としまして、先般、新潟県中長期財政収支見通しが発表されました。これによりまして今後5年間で各年度平均して約560億の収支不足が見込まれるなど、県財政は大変厳しい状況にありますが、長岡の米百俵の物語のように、この時代にこそ新潟県の教育のレベルアップのために県立新潟短大の4年制化を実現する必要があると思うのです。なぜならば、子供たちを教育する先生方の学校だからこそ今必要だと思うのです。

そこで、効率的な施設建設や大学運営コストの低減を図るとともに、教育内容を充実する観点からPFI方式など、民間活力の活用も検討すべきと思いますが、お考えをお聞かせください。6月27日に総務部新行政推進室から外部委託・民営化推進要綱の策定についてをいただきました。

最近福祉の面では、ようやく取り入れられ、長岡においては県営プールもPFI方式で検討がされております。教育の面では、大学間の交流や連携が決まってきている現在、質の高い教育は国公立でなければとは言えないのではないのでしょうか。

見通しの立たない県経済の中で、県も思い切った考え方を打ち出さなければ、時代の変化に取り残され、教育においては県の責任をも問われることになりかねないのではないのでしょうか。

どうぞ、これらのことを踏まえて、今後の見通しをお願いします。知事のお考えをはっきりと聞かせてください。

これで質問を終わります。

【平山征夫知事】

松川議員の一般質問にお答えいたします。

まず初めに、長岡市内の大手大橋の4車線化でありますけれども、大手通りの拡幅につきましては、今年度、車道部の4車線化を完成させ、平成15年度には歩道と電線共同溝の工事を行って完了の予定でございます。

今後、引き続き大手大橋の4車線化に着手したいというふうに考えており、今年度は橋梁の上部工、下部工の詳細な設計や河川管理者との協議を進める予定でございます。

次に、県立新潟女子短大の4年制化についてお答えしたいと思います。

まず、県立大学の特色をどのように打ち出すかということでありまして、現在、有識者により

まず将来構想懇談会を設置して、大学の基本的方向について幅広い観点から御議論をいただいているわけでありませう。

これまでの2回の懇談会では、グローバルスタンダードを標準に置いて、世界でも雇用の機会が見つかるような中身にしてほしい、あるいは卒業が至難のわざという大学をつくるべきである、さらには学部レベルでは文理融合型の教育システムが望ましい、国際系・外国語系を1つの柱として特徴づけてはどうか等々、さまざまな御意見をいただいているところでございませう。

今後、秋までの間にさらに懇談会で議論を深めていただくこととしておりますけれども、最終的に、県として、ちょうだいいたしました御意見を参考にしながら、地域に必要な人材の育成という観点を踏まえ、コンセプトが明確な特色のある大学の構想を策定していきたいというふうに考えております。

次に、高度な保育士及び幼稚園教諭の養成課程でありますけれども、現在、県立新潟女子短大では生活科学科生活福祉専攻で保育士の養成、幼児教育学科で幼稚園教諭二種免許取得者の養成をそれぞれ行っているわけでありませう。

先ほどもお答えいたしましたように、県立新潟女子短大の4年制化に当たりましては、どのような学部構成とするかを中心に、将来構想懇談会で御議論いただいているわけでございますので、今後、基本構想をまとめていく過程で、ただいまの御提言についても十分参考に議論させていただきたいと考えております。

次に、4年制となった場合の大学の経営の見通しでありますけれども、今後、本県でも確実に少子化が進むわけでありませうが、昨年度県が実施いたしましたアンケート調査では、高校3年生の約半数が4年制大学への進学を希望しているのに対して、本県の4年制大学進学率は28.2%、全国より10ポイント方低く、全国36位にとどまっておりますことから、今後も進学者の増加が見込まれますこと、そしてまた現在県外の大学への進学者が約7割もいるという中で、魅力のある大学を設置すれば、現在県外に出ていって優秀な高校生を本県に引き戻すことができること等から、定員の確保は十分可能なものというふうに考えている次第であります。

なお、運営費の増加につきましては、大学の規模あるいは理系・文系等学部の分野によっても大きく変わってくるために、現段階で申し上げることは困難と言わざるを得ないかと思ひます。

次に、県内の私立大学、他の大学への影響でありますけれども、大学入学者数は、今後の大学進学率や社会人入学者の動向等によっても変わってくるわけであり、確実な予測を立てることは困難でありますけれども、県内に既に定員割れをしている大学もございませうので、県立4年制大学の設立が他の大学の学生募集に影響を与えるおそれがないとは言えないというふうに考えております。

このため、県立大学の検討に当たりましては、県内の人材の需給動向から見て、既存の大学における人材養成が十分な分野は避けますとともに、入試のハードルを高くするなど差別化を図り、県立大学のねらいとするところを明確にしながら、極力すみ分けていく必要があるものというふうに考えております。

いずれにしても、これからの少子化の時代に全国的には大学の淘汰が避けられないという状況にあると言われておりますので、県内の大学がお互いに切磋琢磨し、そしてまた連携できるところはお互い連携をして、教育研究の質の向上を図りながら、それぞれが魅力のある大学となりますよう努力をしていくことが最も重要ではないかというふうに考えている次第であります。

また、PFI方式などの民間活力の活用ということでもありますけれども、効率的な施設の建設とか、あるいは大学の運営コストの低減等はこれからの時代に当然必要な観点でございませうので、PFI方式や公設民営方式の導入などにつきましても、今後、県立大学の検討の中で検討する課題の1つというふうに考えている次第であります。

以上であります。

【土山和夫土木部長】

大手大橋の混雑度についてお答えします。

最新の調査である平成11年度の全国道路交通情勢調査によりますと、信濃川右岸大手大橋東詰の日赤町地内における交通量は1日約1万8,000台であり、交通容量に対する実際の交通量の比である混雑度は1.25となっております。

この値は、朝夕の渋滞ピーク時間以外についても数時間渋滞が発生する状態を意味するものであります。

【板屋越麟一教育長】

県立商業高校の再編成についてお答えします。

まず、商業高校の今後の整備の進め方についてであります。産業の各分野でのIT化の進行や経済活動のグローバル化に対応するためには、高度に専門分化した学科を設置して、商業教育を行うだけでなく、基礎的な簿記や商業法規等に加え、近年、産業界から求められている情報化・国際化に対応したコンピューターの活用、外国語によるコミュニケーション等の基礎的な内容の学習を重視した商業教育も行う必要があると考えております。

このため、学習内容が高度に専門化した会計科や情報処理科など、既存の小学科の枠を見直し、再編を進め、生徒や社会のニーズに合った科目を設置し、有為な職業人を育成することとしており、こうした考えに基づいて、今後、商業高校の整備を進めてまいりたいと考えております。

次に、生徒の大学等への進学希望に対応できる商業高校の学科の再編成についてであります。商業高校はその役割や位置づけが大きく変化しており、また社会の高学歴志向により、大学等への進学希望者がふえておりますので、これまでも必要に応じて国語や英語等の普通科目を多く選択できる教育課程を編成するなどして、その対応に努めてまいりましたが、一定の職業科目を履修しなければならないという学習指導要領上の制約の中では、おのずと限界もあることから、進学を目指す生徒の希望に十分こたえられていない実態があります。

このことから高校再編整備計画では、生徒の進路動向を踏まえて、商業高校の拠点校化を進め、拠点校においては、卒業後直ちに職業人として活躍できる人材の育成に努めるとともに、進学を希望する生徒には、将来のスペシャリストを目指し、大学等への継続教育の観点から進学体制を整備する必要がありますので、普通科目をより多く履修できるコースや学科の設置も検討してまいりたいと考えております。

以上です。

【松川キヌヨ議員】

ただいまは、お答えありがとうございました。

私が考えますのに、第1、長岡商業高校、私は長岡商業高校でしたのですが、全体の商業高校の感覚の中で、今後やっぱり大学進学ということの中で幅広くと言っていたのですが、商業科目に対する継続性、その部分をどうしてもたくさん入れていただきたい。

そして、商業科目を入れることによって、それが神戸商業のように一橋大学に大変枠をたくさんいただいているというような方向も出ておりますので、商業科目を入れることによって方向が出るということも、ひとつまた考えに入れていただくということについて、もう一度聞かせていただきたい。

それから、今度は大手大橋の拡幅に関してでございますが、東詰の方で1日1万8,000台という数です。しかし、それは11年度ということですが、現在14年になっております。

もっともっとふえているということの中で、その推進方法はぜひとも早急に、橋げたができています。その上に乗せるだけですが、阪神大震災のいろいろな分を考えた中で、また強化ということも考えられるとは思いますが、もう一度その御決意のほどを……。

本当に長岡は今、沈滞しているのです。この仕事だけでももらって、元気よくならなければならない、そんなようなことから、ぜひとも早目に推進していただきたいということをぜひともお願いしたいと思います。

それから、大学においてはPFI方式ということをお願いいたしました。それは、まず土地は短期大学の部分があります。建物は、それこそリースでもいいでしょう。しかし、教育だけはしっかりと新潟県が繁栄できるよういい教育をし、保育士や幼稚園教諭を育てていただきたいと思うのです。

そのことの中で、早くこの県立大学をつくっていただきたいという意味の中で、もう一度知事のお答えを聞きたいと思っております。

【平山征夫知事】

3点再質問いただきましたけれども、商業高校の関係については教育長から答えていただきたいと思います。ですが、大手大橋の拡幅につきましては、長岡が沈滞しているのはよくわかります。そのことも含めて検討するかどうかは別といたしまして、一番大事な渋滞対策、これのことについてできるだけ市民の皆さんの御希望に沿うように努力してまいりたいと思います。

ただ、のっけるだけというわけでもございませんので、財政上の事情等も含めて検討させていただきたいと思います。

それから、県立新潟女子短大を4年制にした場合のPFIの問題ですけれども、現在、神奈川の方でPFIでやっている事例が出てきておりまして、今つぶさにその調査をしておりますけれども、PFIのメリットが今のところ2億から20億ぐらいの幅でかなり試算によって幅があります。もし2億ということだとほとんどないということになります。

そのことについては、補助金及び税金上の支援も余りないという中での方式では余りメリットはない。したがって、PFIについて先ほど検討の課題の一つというふうに申し上げましたけれども、一工夫も二工夫もしないと、なかなかPFIのメリットが出てこないというのも事実でございます。

それと、教育の内容については、別の問題でございますので、しっかりした教育内容でどういう大学をつくるかは、これから検討して決めていきたいというふうに思っている次第です。

【板屋越麟一教育長】

長岡商業高校を具体的に今後どうするか、こういう趣旨の御質問だと受け取りました。

現在、長岡商業高校の校長先生を中心にいたしまして、これからの長岡商業高校のあり方、どうあるべきかということも現在検討に入っている段階でございます。

例えば、今ある商業科、ここには商業コースであるとか、商経進学コースというのがございますけれども、これを総合ビジネス科というふうなものに改組いたしまして、その中に流通であるとか、簿記であるとか、情報、国際等々のコースを設けまして、その中で進学を希望する生徒さんには将来のスペシャリストとしての継続教育といいますか、こういったものが幅広く選択できるようなコース制をとっていきたく、こんなことで現在検討しております、まだ公表する段階には至っておりません。

以上です。